

規制の事後評価書(要旨)

法律又は政令の名称	エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行令
規制の名称	エネルギー消費効率の向上を義務付ける対象品目の追加を行う規制
規制の区分	新設、改正(拡充、緩和)、廃止
担当部局	経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー課
評価実施時期	令和4年12月
事前評価時の想定との比較	<p>①課題を取り巻く社会経済情勢や科学技術の変化による影響及び想定外の影響の発現の有無 エネルギーの使用の合理化等に関する法律(以下「省エネ法」という。)は、内外におけるエネルギーをめぐる経済的社会的環境に応じた燃料資源の有効な利用の確保に資するため、工場等、輸送、建築物、機械器具等についてのエネルギーの使用の合理化に関する所定の措置その他エネルギーの使用の合理化等を総合的に進めるために必要な措置等を講ずることとし、もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的としている。 機械器具においては、国内において大量に使用され、かつ、エネルギーを大量に消費しているエネルギー消費機器(以下「特定エネルギー消費機器」という。)を省エネ法の対象として規定し、当該機器の製造又は輸入の事業者を行う者(以下「エネルギー消費機器等製造事業者等」という。)に対してエネルギー消費効率の向上努力を求めてきたところ。2017年の改正では、より一層の省エネを進めることを目的に、特定エネルギー消費機器として新たに「ショーケース」を省エネ法の対象品目に追加した。 2017年1月の事前評価時点からその後現在に至るまで、規制の事前評価時に想定していなかった影響は確認されていない。</p> <p>②事前評価時におけるベースラインの検証 日本のエネルギー消費の推移を見ると、近年横ばいにあるものの全体の4割以上を占める産業部門、全体の3割以上を占める家庭・業務部門においては、省エネ対策のより一層の強化が求められている。この実現のためには、エネルギーを使用する段階だけでなく、機械器具自体が高効率な使用を実現できる性能を有していることが重要。 このような状況を踏まえ、エネルギー消費効率の改善余地があるショーケースを新たに特定エネルギー消費機器に追加し、省エネ性能の向上を進める措置を講じることとした。これにより、ショーケースのエネルギー消費効率が、2020年度比で約32%改善すると想定していた。 仮に、ショーケースを特定エネルギー消費機器に追加していなかった場合、エネルギー消費効率の改善を行うインセンティブが働かず、エネルギー消費効率の改善はされなかったと考えられる。</p> <p>③必要性の検証 規制の事前評価後、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を目指すことが宣言された。また、2021年10月に第6次エネルギー基本計画が策定され、2030年度を目標とした省エネルギー目標の見直し(原油換算5,030万kl→6,200万kl)が行われた。 これらの目標の達成にあたっては、日本のエネルギー消費の低減が不可欠であり、エネルギー消費効率の改善余地があるショーケースを新たに特定エネルギー消費機器に追加し、省エネ性能の向上を進める措置を講じたことは、日本のエネルギー消費の低減に寄与するものであったと考えられる。</p>
費用、効果(便益)及び間接的な影響の把握	<p>費用の要素</p> <p>(遵守費用) ④「遵守費用」の把握 [事前評価時の測定指標] ショーケースのエネルギー消費機器等製造事業者等は、製品の設計・仕様の見直し、開発などのコストが発生すると考えられる。 [遵守費用] ショーケースの製品の設計・仕様の見直し、開発の費用は、エネルギー消費機器等製造事業者等の営業秘密情報であるため、その費用の定量化はできないが、例えば、照明装置におけるLEDの採用や、送風機用モーターのDC化など、既存の省エネ技術との組み合わせも可能であるため、必ずしも費用が大幅に増加するとは限らないと考えられる。また、性能の表示義務への対応について、本体の見えやすい箇所へ表示するため、ラベルへの印刷等の費用が追加が必要になったと考えられるが、従来のラベル等に記載内容を追加することで対応が可能であるため、その遵守費用は限定的であったと考えられる。 なお、省エネ法に基づき、国から求められた場合において、エネルギー消費機器等製造事業者等はエネルギー消費効率に関する事項等について、報告を行う必要があり、当該調査票を作成するための作業コストは1件当たり約23,200円※と推計される。 ※調査票を作成するための作業コストについては以下のとおりと仮定。 作業時間 8時間×1名=8時間 1時間当たりの人件費=(民間給与実態統計調査(国税庁、令和元年)の平均給与(年間))/5,034千円÷(労働統計要覧(厚生労働省)の年間総労働時間(実労働時間数)事業 所規模 30人以上)/1,734時間=約2,900円 8時間×約2,900円=約23,200円</p> <p>(行政費用) ⑤「行政費用」の把握 行政機関として、目標年度におけるショーケースのエネルギー消費効率の状況等を、報告徴収により把握する必要があり、関係業界への周知や調査票の確認等の費用が発生したが、定常的な業務の中で随時行っており、費用の追加負担は極めて限定的である。 経済産業省本省職員による説明会を開催(1回程度)しており、説明会業務に2人で1.5時間を要すると仮定すると、約2,600円/時間(※)×2人×1.5時間×1回=約7,800円 が、説明会等を通じた業界等への周知に係る費用となる。 また、経済産業省職員による全ての調査票の確認に係る業務に要する人員数、作業数を2人で5時間と仮定すると、約2,600円/時間(※)×2人×5時間=約26,000円が、調査票の確認に係る費用となる。 ※1時間当たりの人件費を以下の通り算出。 417,683円(国家公務員(全職員)の平均給与月額)÷(8時間×5日×4週)=約2,600円(平均給与月額は「平成31年国家公務員給与等実態調査の結果概要(令和3年10月人事院)」より)</p> <p>影響の要素</p> <p>⑥効果(定量化)の把握 ショーケースを特定エネルギー消費機器の対象にするとともに、ショーケースの目標年度を2020年度に設定し、区分を外気の遮断、形状、温度帯、冷却方式、扉の形態により13区分に設定し、区分ごとに基準となるエネルギー消費効率を設定した。 基準設定時には、出荷台数(103.6千台/年)及び区分ごとの構成が変化しない前提で、基準年度(2007年度)の1台あたりの年間消費電力量3,191kWh/年/台に対し、目標年度(2020年度)の1台あたりの年間消費電力量は2,174kWh/年/台となり、約32%の改善を想定していた。2020年度の実績値は、出荷台数102千台/年で1台あたりの年間消費電力量は3,190kWh/年/台であったが、出荷構成を2007年度に補正すると、1台あたりの年間消費電力量は2,034kWh/年/台となり、約36%の改善が見られた。</p> <p>⑦便益(金銭価値化)の把握 ショーケースのエネルギー消費機器等製造事業者等の技術力の向上やエネルギー消費効率の高いショーケースの普及による日本全体のエネルギーの低減に寄与したと考えられるが、その影響は、ショーケースのエネルギー消費機器等製造事業者等や使用者により、出荷構成の変化やエネルギー単価の変化等によって異なる。 2007年度に出荷した1台あたりの年間消費電力量3,191kWh/年/台のショーケースが、前述の2,034kWh/年/台のショーケースに置き換わったと仮定すると、(3,191kWh/年/台)-(2,034kWh/年/台)=1,157kWh/年/台が削減され、電気料金単価を省エネ法に基づく小売事業者表示制度で規定している27円/kWhとすれば、1年間で1台あたり約3万円のエネルギー消費コストの削減効果があったと推計される。</p> <p>⑧「副次的な影響及び波及的な影響」の把握 ショーケースを特定エネルギー消費機器の対象にしたことにより、エネルギー消費効率の良いショーケースへの代替が進んだと想定される。また、カタログにJIS規格による省エネルギーラベルが表示されること等により使用者の製品比較が可能となり、価格だけでなく、省エネという観点を市場に適切に浸透させる効果も見られた。 なお、規制の事前評価時に意図していなかった負の影響に関する意見等は寄せられていない。</p>
考察	<p>⑨把握した費用、効果(便益)及び間接的な影響に基づく妥当性の検証 ショーケースを特定エネルギー消費機器に追加したことに伴い、ショーケースのエネルギー消費機器等製造事業者等や使用者は、代替品にかかる費用が少なからず、発生したと考えられる。しかし、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を目指すことが宣言され、また、2021年10月に第6次エネルギー基本計画が策定され、2030年度を目標とした省エネルギー目標の見直し(原油換算5,030万kl→6,200万kl)が行われた。これらの目標の達成にあたっては、日本のエネルギー消費の低減が不可欠であることを踏まえると、必要な措置だったと考えられる。 また、ショーケースを特定エネルギー消費機器の対象としたことによる行政費用は、報告徴収等の確認作業があるが、軽微であり、費用の追加負担は極めて限定的である。その他、規制の事前評価時に想定していなかった経済的な負の影響は、特に報告されていない。 以上を踏まえ、ショーケースのエネルギー消費効率を改善するために、省エネ法においてショーケースを特定エネルギー消費機器の対象として規制することは妥当なものであったと考えられる。</p>
備考	